

二〇二四年六月一日（参加者七名）

二〇二四年六月一日（参加者七名）

夏の鳶影を落として空高く	きよえ
鳶乱舞夏の天空我が物に	きよえ
睡蓮の浮葉に遊ぶ糸とんぼ	きよえ
緑陰にカンバス広ぐ豆画伯	千鶴
テント張りサボテン売りや梅雨晴間	千鶴
夏草に分け入りて誦す一碑かな	千鶴
天守閣睥睨したる夏の雲	あひる
応援歌青葉の苑に轟きぬ	あひる
池の面の万緑揺らす遊覧船	恵子
あめんぼのゐるらし水輪あちこちに	恵子
城櫓睡蓮池に逆さまに	みきえ
亀の子に幼な小躍り母招く	みきえ
水草生ふ池面に映る城櫓	わかば
睡蓮の展ぐ水面の静けさよ	わかば
夏雲を写す大池風渡る	せつ子

月例会会みのる選